

講義名	英語 A（総合）				
担当教員	上野 輝夫				
開講期・曜日・時限	後期 火曜日 4時限	授業形態	講義		
履修開始年次	1年生	単位数	2	備考	
主題と概要					
高校までに学習した英語内容の復習を含め、実用的かつ基本的な英語力の向上を目指します。また、国際感覚を養うために、自ら積極的に英語を使ってコミュニケーションをはかろうとする態度を育成します。 共通教材については、原則CALL教室でパソコンを使いながらオンラインで練習を行います。 個別教材は、アメリカで現地の高校生向けに放送されているニュース番組CNN 10から採られたビデオクリップをもとに日本の大学生用に編集されたものを使用します。英語学習者用に加工された英語ではなく、現地で使われるいわゆる「生の英語」に慣れることを目標とします。					
到達目標					
共通教材：基本語彙と文法事項の確認と定着を目指します。 個別教材：一言一句正確に聞き取るのではなく、話されているナチュラルスピードの英語(150-200語/分)に慣れ、内容の概要を推測・理解できるようになることを目標とします。また、世の中で話題になっている事柄に関する英語の語彙の増大を目指します。更に、指示されたCNN10のウェブサイトに行き、テキストに掲載された以外のニュースを視聴し、その書き起こし(transcript)と比較することによって、実際に自分の聴解がどの程度正しいかを試し、どのような点が聞き取りにくいかを判断することができます。					
提出課題					
オンライン、または紙ベースでの課題提出を求めることがあります。 個別教材：テキストの一部の章の指示された練習問題を課題として課します。4週間に一度のペースで、合計3回の提出を求めます。					
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック					
共通教材：毎週の小テスト問題について授業内で解説します。 個別教材：提出された課題の点検・採点後、原則、提出の翌週の授業時に各自に返却し、正解の提示と内容の解説を行います。					
評価の基準					
出席状況、授業中の活動状況、小テスト、および提出課題などの平常点を50％とします。共通教材期末テストの得点を25％とします。定期試験の得点を25％とします。					
履修にあたっての注意・助言他					
授業には積極的に参加してください。英語の基礎力（語彙および文法）を高めるよう努力してください。 個別教材の大きな目標の一つはリスニング力の向上なので、授業中に説明する方法に従い、音自スマホやパソコンに音声教材をダウンロードし、常に予・復習に利用する必要があります。また、教材内容のビデオはストリーミング配信されているので、教材内容のよりよい理解のため予・復習に利用してください。なお、受講生の音声教材のダウンロードやビデオの視聴は無料です。 新型コロナウイルス感染症の状況により、シラバスの変更などが生じる可能性があります。					

教科書				
.CNN10 Student News.	関戸,小暮,Arnold, Mattson	朝日出版	1800円（税抜）	978-4-255-15662-0
プリント資料及び参考文献				
必要に応じて授業中に指示します。				
授業計画				
1. Moodle共通教材ガイダンス 2. Moodle共通教材 Set 1/ 3. Moodle共通教材 Set 2/ Moodle Quiz Set 1 4. Moodle共通教材 Set 3/ Moodle Quiz Set 2 5. Moodle共通教材 Set 4/ Moodle Quiz Set 3 6. Moodle共通教材 Set 5/ Moodle Quiz Set 4 7. Moodle共通教材 Set 6/ Moodle Quiz Set 5 8. Moodle共通教材 Set 7/ Moodle Quiz Set 6 9. Moodle共通教材 Set 8/ Moodle Quiz Set 7 10. Moodle共通教材 Set 9/ Moodle Quiz Set 8 11. Moodle共通教材 Set 10/ Moodle Quiz Set 9 12. Moodle共通教材 Set 11/ Moodle Quiz Set 10 13. Moodle共通教材 Set 12/ Moodle Quiz Set 11 14. Moodle Quiz Set 12 15. Moodle共通教材期末テスト 個別教材 1. CNN10 ガイダンス 2. CNN10 Unit 1 Spirit of Tokyo 3. CNN10 Unit 2 Researching Sharks 4. CNN10 Unit 3 Fire Lookout、課題 1 (Unit 4) の説明 5. CNN10 Unit 5 MRI for Dogs、課題 1 (Unit 4) の提出 6. CNN10 Unit 6 Beating Heating Stroke、課題 1 (Unit 4) の返却と解説 7. CNN10 Unit 7 Adventure Tourism 課題 2 (Unit 8) の説明 8. CNN10 Unit 9 UK Monarch and Traditions、課題 2 (Unit 8) の提出 9. CNN10 Unit 10 Da Vinci Exhibition 課題 2 (Unit 8) の返却と解説 10. CNN10 Unit 11 Disaster Robots、課題 3 (Unit 12) の説明 11. CNN10 Unit 13 Naming Products、課題 3 (Unit 12) の提出 12. CNN10 Unit 14 Kite Energys、課題 3 (Unit 12) の返却と解説 13. CNN10 Unit 15 Smartphone Addiction 14. テキスト上の総復習 (Units 1-15)				
授業形態（アクティブ・ラーニング）				
	ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）	
	ウ：ディスカッション、ディベート		エ：グループワーク	
	オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク	
○ キ：その他（A L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）				
テキストの内容を把握するために音声、ビデオ教材を前もって視聴し、練習問題を解いておく。				
準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間				
共通教材：予習：次の授業で解説されるセット問題をRyukaポータル上のモジュールにアクセスして解く。復習：授業で解説を聞いた後、次週のクイズ（小テスト）に向けてそのセット問題を復習する。・・・合わせて2週間程度 個別教材：予習として毎週、授業前に、音声・ビデオ教材を視聴し、分からない語句の意味を調べ、テキストの練習問題（1-6）を解いておくことが必要です（90分）。復習として、語句と内容の理解を確認し、テキストの練習問題(7-8)を解いておく（30分）。				
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連				
基本語彙と文法事項を定着させることで実用的かつ基礎的な語学力を修得する。また、読解練習を通して海外の社会や文化について学び、基本的な読解と内容理解・情報収集に習熟することにより、卒業時に身につけておくべき資質・能力の育成につなげる。これらの能力は商学部生に求められる音楽界の動向や問題点を理解するための基礎知識・経済学部生に求められる経済にまつわる情報分析の力・人間社会学部生に求められるコミュニケーション能力の修得に役立つ。				
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述				
LMS(Learning Management System)であるMoodleをコール教室、および（または）、授業外の自主学習に利用している。				
実務経験の有無及び活用				
備考				